

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成28年12月8日(2016.12.8)

【公表番号】特表2015-535040(P2015-535040A)

【公表日】平成27年12月7日(2015.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-076

【出願番号】特願2015-537340(P2015-537340)

【国際特許分類】

E 0 2 B 3/10 (2006.01)

E 0 2 D 29/02 (2006.01)

E 0 2 D 5/80 (2006.01)

B 6 5 D 88/10 (2006.01)

【F I】

E 0 2 B 3/10

E 0 2 D 29/02 3 0 8

E 0 2 D 5/80 Z

B 6 5 D 88/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自由流動性物質の移動を抑えるための保持装置において、
流動性物質の自由移動を抑えるための壁を提供するフェース部分 8 と、
自由流動性物質によって前記フェース部分 8 に加えられる力に対して前記フェース部分 8
を支えるための長さ調整可能な傾斜部 4 とを備え、
前記フェース部分 8 は、基礎アンカー 2 上に取り付けられるベース 9 に実質的に直交して
連結されて、前記ベース 9 に対する高さを調整可能であり、
前記傾斜部 4 は、ヒンジ 6、70 によって前記フェース部分と前記ベースとの間に回動可
能に連結され、前記フェース部分の高さが調整されると、ブレースが回動し、前記長さは
前記フェース部分の調整された高さに対応するように調整される、ことを特徴とする保持
装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の保持装置において、
前記フェース部分 8 の前記基礎アンカー 2 に対する相対的な高さおよび向きを調整するた
めの高さ調整手段 201 を備える、ことを特徴とする保持装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の保持装置において、
前記高さ調整手段 201 は、前記ベース 9 を前記基礎アンカー 2 に連結するねじジャッキ
である、ことを特徴とする保持装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の保持装置において、
前記フェース部分 8 は、
前記ベース 9 に固定される底部水平棒 22 と、

前記底部水平棒 2 2 と実質的に平行に調整される上部水平棒 2 3 と、直立支持体の長さを調整することによって前記フェース部分 8 の高さを調整可能とするように、長さ調整可能で、前記上部水平棒 2 3 と前記底部水平棒との間に連結される前記直立支持体 2 0、4 0 を備える側面とを備える、ことを特徴とする保持装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の保持装置において、液体および自由な物質に対する壁として好適な防壁 5 を備え、前記フェース部分 8 は、前記防壁 5 を受け入れて支持するためのチャンネル 5 0 を備える、ことを特徴とする保持装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の保持装置において、前記防壁 5 は薄板からなることを特徴とする保持装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の保持装置において、前記フェース部分 8 は、可撓性があり、伸縮継手に好適であるカバー 1 4 の端部を握持する手段 1 8 を備える側面を有する、ことを特徴とする保持装置。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の保持装置において、前記フェース部分 8 は、マット 7 と、液体および自由な物質に対する壁として好適なカーテンとして前記マット 7 を懸架する前記フェース部分 8 の上部の近くに、懸架手段 1 1 とを備える、ことを特徴とする保持装置。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の複数の保持装置を備えるシステムにおいて、各保持装置の前記フェース部分 8 は、隣接したフェース部分の側面に、実質的に平行に配置されて、結合される側面を有する、ことを特徴とするシステム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のシステムにおいて、各保持装置は、隣接したフェース部分の側面と実質的に平行な側面を配置するように、前記側面の相対的な向きを前記基礎アンカー 2 に対して調整するための高さ調整手段 2 0 1 を備える、ことを特徴とするシステム。

【請求項 11】

請求項 9 に記載のシステムにおいて、前記隣接したフェース部分の側面は、間隙 2 5 によって分離されて、前記間隙 2 5 をカバーする可撓性シートの形態でカバー 1 4 を備える伸縮継手によって結合される、ことを特徴とするシステム。

【請求項 12】

請求項 9 に記載のシステムにおいて、いくつかの前記隣接したフェース部分 8 は、前記結合された実質的に平行なフェース部分の幅で壁の実質的に直線の部分を形成するように、互いに実質的に平行に配置され、その他の隣接したフェース部分は、直線でない壁の部分を形成するように、それぞれに非平行に配置される、ことを特徴とするシステム。

【請求項 13】

請求項 9 に記載のシステムにおいて、前記隣接したフェース部分 8 は、貯蔵タンクとしての使用に好適な囲いを形成するように配置される、ことを特徴とするシステム。